



# 神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより

令和4年2月8日 No.25

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】

郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、

たくましく生きる児童・生徒の育成

・進んで学ぶ子

・思いやりのある子

・元気な子

・ふるさと大好き神内っ子



## 海の生き物たちの命を未来へつなぐ～5年生 環境保護隊! アマモの定植～

5年生は、総合的な学習の時間に神島の海的环境について学習し、生息するカブトガニやアマモを未来につなぐ活動を考え、実践しています。

1月22日(土)の朝7時、5年生の希望者とその保護者が神島公民館近くの海岸に集まり、アマモの苗の定植をしました。希望者と言っても、都合が付かない児童数人以外ほぼ全員参加しました。

そのアマモの苗は、10月の下旬にNPO法人里海づくり研究会の方を講師に、『海を守る活動』についてお話を聞き、笠岡市環境課と生活協同組合の方の協力を得て種をまき、海水に浸して理科室で育てていたものです。普通、アマモの定植は、潜水服を着て潜って作業をするのですが、笠岡では干満の差が大きく4m近くにもなることから、潮が引いたときに長靴を履いて定植ができるということで、子どもたちが自分たちで生き物の環境をつくっていく学習の場が整っていることに、神島の自然の素晴らしさを感じます。

当日は、小さなスコップで穴を開け、10cm程度に成長したアマモの苗をポットごと植え付けました。前回同様、笠岡市環境課と生活協同組合の方が、早朝暗い中で準備を進めてくださいました。順調に生育すると、今年7月頃には2mくらいに成長するそうです。子どもたちと一緒にアマモの成長と海的环境浄化を見守りたいと思います。

アマモの定植の後、磯の生き物を調べました。生物に詳しい方が来てくださったので、生き物の名前や生態について教えていただきました。海藻や貝が数種類見られるくらいに思っていた海でしたが、子どもたちは実にたくさんの生き物を見つけてきました。海の生き物に、より深く興味をもったようです。

2月に入り、総合的な学習の時間に、自分たちの活動を広げていくためにどんなことをしたらよいかについてグループで考え、計画を立てました。地域や笠岡、近隣の市町、全国の人々が、自然環境に関心を持ち、保護する活動が広がってほしいと思います。



アマモの種まき



アマモの定植



- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ヒザラガイ  | イソガキ   | スナモグリ  |
| ホンダワラ  | カイメン   | コウイカ   |
| オオヘビガイ | アサリ    | ウミエラ   |
| アサヒ    | イソガニ   | アオイガイ  |
| ミミズハゼ  | ヒトデ    | アナアオサ  |
| チゴケムシ  | ウミサボテン | ※一部です。 |

見付かった生き物

残念なものも見付かり、回収しました。



活動を広げていくために